

---

# 仕返し

クロセ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】  
仕返し

【Nコード】  
N0274L

【作者名】  
クロセ

【あらすじ】  
ある日のクルルとケロロの話。

ふとクルルは背中にズシリと重たい感触がよりかかると感じて顔を後ろに向けた。

「ククツ、寝ちまったのかよ」

見れば、口から涎を垂らしながら、間の抜けた顔ですやすや眠る緑色の宇宙人の姿があった。

どうやらゲームをしながらクルルが侵略兵器を作り終えるのを待っていたのが、途中で疲れて寝てしまったらしい。ケロロの横に携帯ゲーム機が電源の入ったまま転がっていた。

「こつちは徹夜で頼まれたモン作ってるっていうのによお、いい気なもんだぜ」

よりかかられたままでは作業の邪魔で仕方ない。

そのまま体をどかしてケロロの頭を床と激突させても良かったが、あまりの幸せそうな寝顔に思わず毒気を抜かれる。

「…………たたく」

ゆっくりと体をどかし、ケロロを床に仰臥させる。

投げ出された携帯ゲーム機の電源を切り、机の上の油性ペンを手に取った。

「俺様の作業の邪魔したお返しだぜえ、隊長」

すやすやと寝息をたてるケロロの顔にヒゲを描き、おでこに肉と描く。

思う存分落書きをしたところでクルルはペンを床に置いた。

「ま、隊長の目が覚めるまでには完成させといてやるよ」

作業の続きをしながら、ケロロが自分の顔に描かれたものに気づいて慌てふためく様子を想像してクルルは口元を緩めた。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0274/>

---

仕返し

2010年10月22日00時22分発行